

令和 2 年度 学内研究助成金 研究報告書

研究種目	<input type="checkbox"/> 奨励研究助成金	<input type="checkbox"/> 研究成果刊行助成金
	<input type="checkbox"/> 21 世紀研究開発奨励金 (共同研究助成金)	<input checked="" type="checkbox"/> 21 世紀教育開発奨励金 (教育推進研究助成金)
研究課題名	平時／有事をめぐりコミュニティとメディアの信頼性に関する比較社会学的研究	
研究者所属・氏名	研究代表者： 総合社会学部・准教授 松本行真 共同研究者：	

1. 研究目的・内容

有事を「想定外」と「広域」に影響を及ぼす災害と定め、胆振東部地震による全道停電で混乱を起こした北海道内を主なフィールドとして、被災者の（電気を含む）物資調達に揺れ動く「コミュニティ／ネットワークの諸相」を検討する。本研究では研究代表者が東日本大震災時の原子力災害からの調査結果を手がかりに、物資調達の判断に関する「意思決定」が分化・複層化する要因を、情報の信頼性を媒介に(1)共同性(2)メディア・スケープの二つの視点から、平時との比較を通じて考察することを目的とする。

2. 研究経過及び成果

(1) 研究経過 ※2021 年 3 月末時点
 本研究期間は上記目的を達するための準備調査を行った。
 胆振東部地震、新型コロナウイルス等の各種有事における住民組織の対応と地域メディアの連携実態や期待を明らかにするために、以下の調査を行った。

①室蘭市『町内会・自治会における広報活動調査』

- 調査手法 郵送による質問紙調査
- 調査対象 室蘭市町内会連合会加盟の 117 単位町内会・自治会会長
- 調査項目 平時における町内会の広報活動、胆振東部地震・新型コロナウイルス等の有事における町内会の対応（情報「収集」「発信」と収集情報の評価）、町内会における広報活動の期待
- 調査期間 2020 年 11 月～12 月
- 回収結果 69s 回収率 59.0%

②稚内市『町内会・自治会における広報活動調査』

- 調査手法 郵送による質問紙調査
- 調査対象 稚内市町内会連絡協議会加盟の 66 単位町内会・自治会役員
- 調査項目 平時における町内会の広報活動、2020 年 8 月豪雨における町内会の対応（情報「収集」「発信」と収集情報の評価）、町内会における広報活動の期待
- 調査期間 2021 年 1 月～2 月
- 回収結果 111s (32 単位町内会) 回収率 48.5% (単位町内会ベース)

③網走市『地区連合町内会における広報活動調査』

- 調査手法 地区連合町内会理事会時に質問紙を配布
- 調査対象 網走市町内会連合会理事の 15 名
- 調査項目 平時における町内会の広報活動、町内会における広報活動の期待
- 調査期間 2021 年 2 月
- 回収結果 15s 回収率 100.0%

(2) 研究成果

①～③の調査の各々について単純集計表・報告書（速報版）を作成し（添付資料）、調査関係者（各市町内会連合会、北海道町内会連合会、室蘭まちづくり放送、LIA、北海道放送）に配布した。

室蘭市については、①の結果を室蘭市町内会連合会事務局にて報告を行い、2021年度以降の広報活動、防災訓練時における住民組織と地域メディアとの連携についての議論も行った（2021年3月）。その同日に室蘭まちづくり放送でも報告を行い、地域メディアとして有事に住民が信頼できる情報発信のあり方を検討した。

網走市、稚内市は新型コロナウイルスの関係もあり、今年度の報告を対面にて行うことは出来なかった。

成果発表等については、2021年5月開催のJCBA北海道地区協議会（札幌）、東北都市学会年報の投稿（査読論文）を予定している。また、必要に応じて、調査各市への報告も随時行う。

また、本調査等による成果を令和3年度科研費・基盤研究(B)「情報の信頼性とメディア・スケープをめぐる平時／有事の比較社会学的研究」の申請書に反映させ、採択された。

3. 本研究と関連した今後の研究計画

準備調査は各市のリーダーレベルを対象に行ったが、2021年度以降は住民レベルを対象を拡げ、情報の信頼性を媒介にした(1)共同性(2)メディア・スケープを明らかにする。

具体的には①～③各市において、1~3単位町内会の全世帯（または無作為抽出）を対象に「平時・有事における情報収集・共有・発信に関する実態・期待調査」を実施する（2021年度は室蘭市での実施を想定）。

またこれらの過程と並行して、避難訓練や地区防災計画検討にも参画し、地域メディアと連携した情報収集・共有・発信体制構築に向けた実証的な調査研究を進める。

4. 成果の発表等

発表機関名	種類（著書・雑誌・口頭）	発表年月日(予定を含む)
東北都市学会	口頭&論文投稿	2021年9月（予）
JCBA北海道地区協議会・総会	口頭	2021年5月（予）